



▲市内のお買い物などにもコミュニティバスtocoで

コミュニティバスtocoの延伸は

中名生 隆 議員

議員 早瀬町会は競艇場出入口にあり、長年住民は大変迷惑しています。笹目南町に建築された大規模マンションのメイプルタウンから戸田公園駅へのシャトルバスを利用し、tocoの早瀬町会地域への延伸を検討してみてもいいです。

市民生活部長 今後、当該マンション関係者の方との話し合いを設けて、調査をしていきたいと存じます。

議員 大型店オープンにより市内個人商店等は厳しい環境であり、tocoバスサービス券の啓発をすべきではないですか。

市民生活部長 商工会で「お帰り乗車券」の説明を

行っています。今後もホームページなどでの啓発を考えています。

議員 メイプルタウンや早瀬町会の本市水害対策は。

都市整備部長 雨水ポンプによる強制排水と雨水整備が必要で、多大な事業費がかかり、今後十分な検討が必要であると考えています。

議員 温暖化による水害に笹目排水機場のポンプ増強を至急行うべきでは。

都市整備部長 現在、県が進めている時間雨量50ミリに対応したポンプ場の整備は完了していますが、今後、少しでも増強できるように、国・県に対し強く要望をしていきます。

議員 事業所による迷惑駐車防止対策の考え方は。

市民生活部長 より一層、事業主の協力が得られるよう啓発していきます。

駅利用者等の市民サービス向上を

斎藤 直子 議員

議員 市役所庁舎外で、戸田公園駅等3カ所に設置される自動交付機の進捗状況をお聞かせください。

市民生活部長 住民票の写しと印鑑登録証明書以外に、所得証明・課税証明書等の税務証明、外国人登録原票記載事項証明書の交付を検討し、平成18年の1月ごろに利便性の高い駅等に設置の予定です。

議員 自動交付機のそばに小さな市民サービス窓口があると、行政に対する疑問点や生活の悩みを気軽に相談できたり、スポーツ施設や白田の湯、文化会館等の予約、ボランティア情報等も入手できたりします。そうすれば、市民にとって身近で市のPRの場になると考えますが。



▲乗降客が多い戸田公園駅にも自動交付機を設置予定

議員 JRも市民と行政と一緒に防犯や景観等について考え、まちづくりに参加していただくよう、要望をお願いいたします。

総合政策部長 行政が運営するものに限らず、柏市ではボランティアやNPO法人等、市民参加で運営を行っている事例を参考に、研究課題といたします。

議員 戸田公園駅駐輪場の将来計画についてJRとの協議経過を教えてください。

総合政策部長 電車の行き先駅と車庫の関係でダイヤが決定するため、始発駅や終着駅がともに最寄り駅から遠くなるほど要望に添わなくなり、武蔵浦和駅発着も含めてJRに強く要望していきま

市民生活部長 年間登録者増加状況から、手数料を含め民間参入もできるような施設利用の見直しを検討します。戸田公園駅にも今年度内に効果のあった戸田駅同様、JRのコイン式ラックが設置予定されています。

議員 埼京線の始発・終電延長運行が、なぜできないのか、JRに対し市民が納得する要望が必要ではないでしょうか。

一般質問

公営住宅増設の声に応えて促進を

庄司 慎 議員

議員 住宅困窮者が多数いますことから、市の住宅計画の遅れは許されない状況となっております。住宅建設の進展状況はどうですか。

都市整備部長 市営住宅ストック計画は、平成15年度から10年計画となっており、その中で下笹目・柳原住宅は建て替えて戸数増を図ります。当面は、下笹目住宅を平成20年度の完成を目標に努力します。

議員 住宅リフォーム助成制度の導入を求める声が多くあります。県下ですでに24市で実施し、地域経済活性化の効果も上がっています。その後の検討は。

都市整備部長 木造住宅の耐震診断・耐震補強工事に対する助成を検討していま

す。市内の建設業者に実施いただくことにより、経済の活性化に寄与できればと思います。店舗の改装や、バリアフリー化等への助成制度にも支援できないか検討したいと存じます。

め(オレオレ)詐欺)に対し、「防犯シール」が効果をあげています。市民が被害に遭わぬように、市の「防犯シール」を全戸配布して注意を呼びかけてみてはどうですか。

議員 巧妙化する「振り込



▲建て替えが急がれる下笹目住宅

議員 被爆60周年を迎え、市でも記念行事を開催して、被爆の実相を市民や子どもたちに伝えていくべきと考えますがどうですか。

総合政策部長 これまでどおりの平和事業を行っていきたくないと存じます。

議員 ①乳幼児医療費の窓口払いの廃止を。②専門の子育て支援センターをつくる必要があるのでは。③福祉の駅整備構想は。

福祉部長 ①財政的問題もある十分に検討していきたいと思えます。②サークル等の力を借りて行うのか、支援センターを増設するのか検討しています。③国から包括支援センター構想が出され、重なる部分が出てきますので再検討しています。

議員 確かな学力の定着に様々な試みが行われているが、効果について客観的に検証すべきでは。

教育部長 授業がわかっているのか、全校で調査しています。また、他の方法でも検証していきたいと存じます。

議員 医療・保健センターの建て替え用地の選定は。

医療保健センター事務長 プロジェクトチームで検討中です。

来年度予算編成は

望月 久晴 議員



▲17年度からは各部単位に枠予算制度を導入

議員 平成17年度予算編成を伺います。①予算編成方針の経常経費は。②税収見込みは。③年度途中では制度の改正、災害等緊急なもの以外は補正予算を認めないとしているが、弾力的な予算運用が必要では。④市単独の扶助費で見直しの考えは。

総合政策部長 ①経常経費は各部に対して一定額を配分し、部の権限で予算を配分。枠予算制度を導入することが特徴です。**市民生活部長** ②税制改正の内容が確定していない状況ですが、現段階では若干の増収を見込んでいます。**総合政策部長** ③補正予算を組まない前提で予算を組みますが、必要があれば補正予算も編成します。**福祉部長** ④すべて福祉部の予算配分なので、その中で検討しています。